

あなたと政をむすぶ



広島
No.150

かんおんじ

2018 / 平成30年

4

April

4月8日 体験型資料館 ふるさと学芸館 オープン

ふるさとの歴史を学んだり、先人たちの知恵が詰まった道具を使い昔の生活を体験したりしませんか。どなたでも自由に見学できます。（関連記事6ページ）

目次

- 平成30年度市長施政方針 2～4
- 4月から市の組織が変わります 5
- こんにちは「ふるさと学芸館」です 6
- 出前講座をご利用ください 10・11



平成30年度 市長施政方針



「にぎわい」「やすらぎ」「ときめき」が
あふれる「強い観音寺市」を創り上げて
まいります

3月定例市議会
の冒頭、白川晴司
市長が施政方針を
表明しました。市
民の皆さまに市政
運営について理解
を深めていただく
ため、要約して紹
介します。



はじめに

本市における少子高齢化
は急速に進行しており、平
成29年の人口移動調査によ
ると、自然動態は初めて4
00人を超える減少となる
など、危機的な状況です。
一方、社会動態について
は、大きく改善しており、
「地方創生」の取り組みが
徐々に表れているのではな
いかと考えております。
平成30年からの10年間で
計画期間とする「第2次観
音寺市総合振興計画」では、

目指す将来像「みんなで奏
でる、にぎわい、やすらぎ
ときめき」の都市、元氣
印のかんおんじゅ」の実現
に向け、7つの基本目標を
掲げました。また、総合振
興計画の「前期基本計画」に
おいて、基本目標と基本施
策を横断的に結び付け、優
先的かつ重点的に取り組む
「にぎわい」「やすらぎ」
「ときめき」の3つのプロ
ジェクトを設定し、それら
を推進していくことで、人
口減少に負けない「強い観
音寺市」を創り上げてまい
ります。

市政運営方針

しごとをつくり、ひとが
交流する「にぎわい」の
まちを創る

産業活性化に向けたハー
ド整備を進め、まちの体力
を鍛えてまいります。また、
きめ細かなソフト事業によ
り優れた人材が集い、力が
発揮できる環境を整え、「し
ごと」と「ひと」の相乗効
果を生み出し、強く元氣な
まちを構築してまいります。
観光振興をはじめとした
交流促進や移住・定住の促
進、都市空間の整備に取り
組み、人が行き交い、にぎ
わいあふれるまちづくりを
進めてまいります。

支え合い安心して暮らせる
「やすらぎ」のまちを創る

地域の絆を深め、住民が
主体となった「共生のまち」
の実現に向け、行政がその
「つなぎ手」としての役割
を果たせるよう、地域に根
差した取り組みを進めてま
いります。
「やすらぎ」があふれ、
安心して子どもを産み育て

られる環境をさらに充実し
てまいります。

市民みんなが輝く
「ときめき」のまちを創る

ハイスタッフホール（観
音寺市民会館）において、
芸術性の高いイベントやコ
ンサートなどを開催し、市
内外に向けてその魅力を発
信してまいります。
子どもたちが「学びのと
きめき」を感じられる教育
環境の整備を進めるととも
に、誰もが生涯を通じて心
豊かに学び、活躍できる仕
組みづくりに取り組んでま
いります。

重点施策

1 活力と魅力ある
産業のまち

観音寺港南西側の「観音
寺港観音寺地区港湾環境整
備事業」は、平成32年度の部
分的な分譲の開始と優良企
業の誘致に向け、県と協立し
て事業を推進します。また、
事業完了後の交通量の増加
に対応するため、都市計画
道路柞田川右岸線の整備に



観音寺ブランド認証商品

向けた測量設計に着手します。
県と連携し、新たな企業
立地のための候補地の確保
や、優良企業への積極的な
提案を進め、市民のニーズ
に合った安定した雇用を創
出します。
新年度から3年間、中心
市街地ゾーンの空き店舗や
空きオフィス等を改装する
ための工事費の一部を補助
し、経済活動の活性化に取
り組みます。
新規就農者が円滑に営農
できる環境の整備と、サポ
ート体制を強化します。
「観音寺ブランド認証制
度」は、今後も優れた産品
の認証を進め、認証産品の
販路拡大や販売促進などの
経費を補助するとともに、
情報発信などの強化に努め
ます。

2 安全・安心で快適に
暮らせるまち

新たな「観音寺市都市計
画マスタープラン」の策定
に着手し、平成31年度の完
成を目指します。また、私
の目指す持続可能な「コン
パクトシティ」の実現に向
けた具体的な計画として、
「立地適正化計画」の策定
を進めます。

3 新たな交流を
生むまち

「観音寺市観光基本計画」
に基づき、観光商品の開発
や誘客体制の整備、観光へ
の市民参加の促進など、新
たな取り組みに着手します。
平成31年度の瀬戸内国際
芸術祭に向け、「ART S
ETOUCHI」事業を支
援し、伊吹島の継続的な
ぎわいを創出します。



伊吹がもっと好きになる！
手作り弁当と体験交流

「空き家バンク制度」を活
用したマッチングと「空き
家リフォーム事業補助金」
による改修等を積極的な支
援し、空き家の流動化を促
します。また、倒壊の危険
性がある空き家については、
除却費用等の支援を継続し、
安全の確保を図ります。
自主防災組織の備蓄食料
の購入に対する補助を新設
し、さらなる体制の強化と

シティプロモーション活
動については、関西圏在住
の「がんばれ観音寺応援隊」
の交流会を開催するなど、
活動の充実を図ります。ま
た、市民自らがまちに誇り
と愛着を持ち、住み続けたい
と思える情報発信にも積

4 豊かな学びと
文化を育むまち

豊浜小学校および豊浜幼
稚園は、改築に向けて敷地
の配置計画や測量調査等に
着手します。
小学校および中学校のト
イレの洋式化と改修を計画
的に進めます。
柞田、豊田、一ノ谷の3幼
稚園を統合する「観音寺中
央幼稚園」は、建設工事の円
滑な進捗を図り、平成31年



市民ミュージカルどる
ウラが住ん不思議の島
3月25日の本番に向けて

観音寺東公民館について
は、平成31年4月の開館に
向けて工事に着手します。
旧紀伊小学校校舎を活用
した「ふるさと学芸館」に
おいては、本市の歴史や文
化などの資料の収集と展示
のほか、市内全ての小学3
年生が体験する「昔の暮ら
し」の学習や、ふるさとにま
つわるさまざまな体験活動
、地域の人材を活かした教養
学習講座など、多様な学び

5 だれもがいきいきと
暮らしつつけられるまち

介護保険事業については、
地域包括支援センターを直
営事業とし、サービスの充
実を図ります。また、地域
包括ケアシステムの構築に
向けて、認知症初期集中支
援や在宅医療・介護連携の
推進等に取り組むとともに、
第2層協議体の設置に向け
た取り組みを進めます。



古墳まつり

を提供します。
国指定史跡
大野原古墳群
などの重要遺
跡については、
保存と活用
のための範囲
確認調査を進
めます。
総合運動公園内の施設に
ついては、野球場および総
合体育館の改修、駐車場の
整備などを進めます。
人権教育および人権啓発
については、性的マイノリ
ティの人権など、さまざま
な人権問題への理解を深め
るとともに、啓発活動を実
施し、差別のない人権が尊
重されるまちづくりを進め
ます。

4月から市の組織が変わります

企画課 ☎23-3917

水道事業が香川県広域水道企業団に統合されるに伴い、上下水道部を廃止します。また、急速に進行する人口減少を抑制するための定住促進に関する事業や地方創生の実現に向けた取り組みをさらに推進するため「ふるさと活力創生課」を新設します。

平成30年3月まで

平成30年4月から

部 名	課 名	部 名	課 名 等	電話番号
政策部	—	政策部	新設 ふるさと活力創生課 地方創生推進室 交流定住推進係	23-7803
	危機管理課	総務部	危機管理課	23-3940
上下水道部	下水道課	建設部	下水道課	25-6890
	水道局	上下水道部	廃 止	
	監理課 工務課			

参考 観音寺市水道局の業務は、香川県広域水道企業団観音寺事務所監理課、工務課にそれぞれ引き継がれます。なお、窓口（市役所3階）（監理課☎25-5212、工務課☎25-5241）は、これまでと変更ありません。

取扱窓口が変わります

業 務 内 容	変 更 前	変 更 後	電話番号
●地方創生に関すること まち・ひと・しごと創生総合戦略、人口ビジョン等、 地方創生施策の推進および総合戦略の進行管理	企画課	ふるさと活力 創生課	23-7803
●結婚支援に関すること 結婚新生活支援補助金			
●ふるさと納税に関すること			
●空き家バンク、空き家リフォームに関すること 空き家リフォーム事業補助金	地域支援課	ふるさと活力 創生課	23-7803
●移住・定住促進に関すること 移住促進・民間賃貸住宅借上げ料等補助金			
●シティプロモーションに関すること	商工観光課	ふるさと活力 創生課	23-7803
●公共施設等総合管理計画、公共施設の適正配置 に関すること	企画課	総務課	23-3900
●渇水対策本部に関すること	水道局監理課	危機管理課	23-3940
●エネルギー施策に関すること 住宅用太陽光発電システム設置費補助金	商工観光課	生活環境課	25-2698
●専用水道、簡易専用水道、小規模受水槽水道、 飲用井戸等衛生対策に関すること	水道局工務課		

※その他詳細については、各課へお問い合わせください。

自殺対策基本法に基づき、「観音寺市自殺対策計画」を策定し、こころの相談活動や啓発を推進します。待機児童の解消を図るため、法人保育所等による定員増に向けた施設整備に対し、補助を行います。新年度には市内の事業所内に保育施設が2カ所開設されます。引き続き市内の企業や事業所へ保育施設の設置を働きかけます。栗井保育所の耐震改修を実施し、安心して子どもを預けられる環境を整備します。放課後児童クラブについては、観音寺小学校校区で「観音寺第2なかよし教室」を開設します。また、柞田なかよし教室の定員増など、受け入れ態勢をさらに充実します。

国の動向を注視しつつ新たな支援策を検討します。新たな子育て支援策として、中学3年生の希望者に対してピロリ菌の検査とその後除菌にかかる費用を市が負担し、将来の胃がん発症のリスクを軽減します。本市の環境の保全に関する総合的かつ計画的な施策の推進を図るため、「第2次観音寺市環境基本計画」の策定を進めます。「観音寺市エコオフィス実行計画」の第3次計画に基づき、市の主要施設における事務事業のCO2削減計画と管理標準の策定に取り組みます。水道事業については、本年4月から県と8市8町で構成する「香川県広域水道企業団」に一元化されます。今後は、企業団と連携して水道施設の維持管理や運営の効率化を図り、低廉で安全な水道水を供給します。水道施設が未整備でありました大野原町の海老津地区および海老津石砂地区に



男女共同参画講演会

において、飲料水供給施設等の整備を実施します。公共下水道事業については、計画的な管渠の整備を継続するとともに、「下水道ストックマネジメント計画」に基づき、第1ポンプ場の長寿命化および耐震改修を実施します。自治基本条例については、講演会の開催や、広報かんおんじ等での制度の周知など、制定に向けた機運の醸成と調査研究に引き続き努めます。「第2次観音寺市男女共同参画計画」を策定し、女性の活躍促進、働き方改革の推進、企業向けの啓発活動など、新たな取り組みを進めます。

効率のいい効果的な行政運営のため、「行政改革推進計画」に基づく「質」の改革を進めます。また、ふるさと納税制度「がんばれ観音寺応援寄附金」の活用や未利用地の売却など、自主財源の確保に努めます。「公共施設等総合管理計画」に基づき、市有施設の「個別施設計画」の策定に着手し、規模の適正化や計画的な維持管理体制を構築します。

「強い観音寺市」を創り上げるといふ自分の信念に基づき、新たな10年に向けて挑戦を続けてまいります。そのためには、市民の皆さまをはじめ、各種団体や企業等と行政が、「チーム観音寺」として連携と協働をさらに深め、一丸となつて本市の輝ける未来を創りあげていくことが重要です。私は、市民の皆さまがまちに誇りを持ち、一体となつて「にぎわい」「やすらぎ」「とくめき」の美しいアンサンブルを奏でられるよう、市政の舵取り役として力強く指揮をとってまいります。市民の皆さまの深いご理解とご協力を心からお願い申し上げます。